

# アズワン殿町ラボ ハイブリッドセミナー



3月25日 (木) 15:00 ~ 18:00

- 15:00~ アズワン株式会社 ライフサイエンスグループ 于 涛  
「シングルセル解析装置AS ONE Cell Picking Systemのご紹介」
- 15:40~ 細胞工学研究所・大阪市立大学 立花 太郎 先生  
「AS ONE Cell Picking Systemを用いたシングルセルからのモノクローナル抗体作製」
- 16:30~ アズワン株式会社 研究設備グループ 佐々木 尚弥  
「安全キャビネットの正しい使い方」
- 17:00~ 東京大学医科学研究所 ワクチン科学分野 石井 健 先生  
「コロナ禍でのワクチン開発；その破壊的イノベーションの課題と展望」

3月26日 (金) 9:00 ~ 12:00

- 9:00~ NanoString Technologies Inc., 植松 隆 様  
「nCounterデジタル分子カウント技術からGeoMx空間プロファイル技術、そして最新技術について」
- 9:30~ 近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門 原谷 浩司 先生  
「nCounter IOパネルを用いたヒト臨床腫瘍検体の測定・解析」
- 10:10~ アズワン株式会社 ヘルスサイエンスグループ 上向 健司  
「遺伝性疾患等のゲノム構造変化を解析するための全ゲノムマッピング技術とシステム」
- 10:40~ シスメックス株式会社 R&I事業推進部 営業課 岩見 一志 様  
株式会社JVCケンウッド ヘルスケア事業部 開発営業部 松井 彩未 様  
「従来のエクソソーム定量測定の課題を解決するExoCounterのご紹介」

3月26日 (金) 13:30 ~ 16:00

- 13:30~ 理化学研究所 iPS細胞高次特性解析開発チーム 林 洋平 先生  
「疾患患者由来iPS細胞バンクを活用した難病・創薬研究」
- 14:30~ 大阪大学大学院 医学系研究科 心臓血管外科 宮川 繁 先生  
「心不全における再生医療の現状と展望」
- 15:30~ アズワン株式会社 ライフサイエンスグループ 于 涛  
「微小重力環境下で幹細胞が培養できるGraviteと、  
幹細胞の品質検査を一括管理するモニタリング装置 CellAssistのご紹介」

**※事前予約制** お申込みはこちらから 

 <https://www.as-1webinar.com/>

会場：ライフイノベーションセンター4階 A会議室  
(神奈川県川崎市川崎区殿町 小島新田駅より徒歩17分)  
※特設サイトでのライブ配信も同時開催

お問い合わせ先： アズワン(株) 殿町ソリューションリサーチグループ  
TEL：044-577-7210 MAIL：[tonomachi-lab@so.as-1.co.jp](mailto:tonomachi-lab@so.as-1.co.jp)



3月25日（木）15：40～ 細胞工学研究所・大阪市立大学 立花 太郎 先生  
 「AS ONE Cell Picking Systemを用いたシングルセルからのモノクローナル抗体作製」



概要：  
 AS OneCell Picking System は、細胞へのダメージがほとんどなく、シングルセルレベルの解析と単離ができる装置です。この装置を用いて私たちが開発したモノクローナル抗体作製法をご紹介します。

3月25日（木）17：00～ 東京大学医科学研究所 ワクチン科学分野 石井 健 先生  
 「コロナ禍でのワクチン開発；その破壊的イノベーションの課題と展望」

概要：  
 COVID-19のワクチン開発について、今までの経緯や現状と課題をはじめとし、ポストコロナ時代を見据えた次世代ワクチン開発研究に加え、「ワクチン」をめぐる課題とその対策、将来の展望についてお話しいたします。



3月26日（金）9：00～ NanoString Technologies Inc., 植松 隆 様  
 「nCounterデジタル分子カウント技術からGeoMx空間プロファイル技術、そして最新技術について」

概要：  
 弊社ではnCounter®プラットフォームにより、800種類の遺伝子またはタンパク質のマルチプレックス解析を実現。更に最新の空間的プロファイル技術であるGeoMx®プラットフォームは、FFPE切片上で約18,000遺伝子・数百種類のタンパク質の解析を実現。これらの技術をご紹介します。



3月26日（金）9：30～ 近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門 原谷 浩司 先生  
 「nCounter IOパネルを用いたヒト臨床腫瘍検体の測定・解析」

概要：  
 当科では、これまで患者由来の臨床検体（ホルマリン固定腫瘍組織検体）を中心に500例程度の検体で測定・解析を行なってきており、概ね満足の結果が得られていると感じています。ホルマリン固定後腫瘍組織由来の高度に断片化したRNAをnCounter systemを用いて多数測定した経過について報告し、経験上感じた測定上の注意点やTipsについてお伝えします。



3月26日（金）10：40～ シスメックス株式会社 R&I事業推進部 営業課 岩見 一志 様  
 株式会社JVCケンウッド ヘルスケア事業部 開発営業部 松井 彩未 様  
 「従来のエクソソーム定量測定の課題を解決するExoCounterのご紹介」

概要：  
 昨今、エクソソームに関する研究が非常に進展し、エクソソームを測定するニーズが高まっています。エクソソームを測定するに当たっては多くの手法がございますが、一方で定量測定に残る課題は数多くございます（単離手法の多くは操作が煩雑、エクソソームは小さく検出が難しい等）。ExoCounterは定量測定に関する課題を解決し、バイオ研究や次世代医療、個別化医療の実現に寄与するシステムとして、ソリューションを提供します。

3月26日（金）13:30～  
 理化学研究所 iPS細胞高次特性解析開発チーム 林 洋平 先生  
 「疾患患者由来iPS細胞バンクを活用した難病・創薬研究」

概要：  
 iPS細胞が発明され、基礎研究はもちろん、再生医療や薬などの治療法の開発に幅広く貢献しています。理化学研究所から提供されている様々な疾患の患者さんの細胞由来の「疾患特異的iPS細胞バンク」を活用した難病研究とiPS細胞の研究を発展させるための技術開発について話します。



3月26日（金）14：30～ 大阪大学大学院 医学系研究科 心臓血管外科 宮川 繁 先生  
 「心不全における再生医療の現状と展望」

概要：  
 わが国の心疾患の患者数は約170万人と推測され、心疾患による死亡者は年間約20万人にのぼり、ガンに次いで死亡者数全体の約15%を占めています。大阪大学心臓血管外科では、重症心不全に対して、心臓移植や補助人工心臓などの置換型医療に加え、新たな選択肢として細胞移植などの再生医療を研究開発してきました。本セミナーでは、当科における再生医療のトランスレーショナルリサーチを紹介させていただきます。

